

## 平成 26 年度 事業計画について

### 1 基本方針

いわゆる団塊の世代の人々が 65 歳に達し、高齢者人口が 3 千万人を超えて、本格的な高齢社会を迎えております。一人でも多くの高齢者が「福祉の受け手」ではなく「社会の担い手」として様々な社会活動に参加することが求められています。「社会の担い手」として、働く意欲のある高齢者の方々に就業の機会の確保・提供を行うシルバー人材センターの役割は、益々重要なものになってきています。

一方、経済状況は「アベノミクス」と言われておりますが、センターを取り巻く環境に好況感はなく、数年来削減が続いた国の補助金の復活も微増にとどまっています。当面、厳しい状況が継続する覚悟でセンターの運営をまいります。

会員の活動する場であり自分たちの暮す場でもある地域社会が、シルバー事業に何を求め、何を期待しているかを推測し、このことをシルバーの就業として具体化していく努力の積み重ねにより、センターの存在感をさらに高めていきます。

会員の増加、就業機会と受注量の拡大、質の高いサービス提供、後継者及びリーダーの育成に努めます。また、健全な財政運営に向け、効率的な組織、資金運営方法、経費節減を検討してまいります。

公益性を認定された公益社団法人であることを自覚し、その務めを会員、役職員が共に果たすよう努めます。

### 2 事業計画

#### (1) 会員目標数

正会員数	1,150 人以上
------	-----------

会員数は、平成 21 年度から増加していましたが、平成 24 年度には前年度より 37 人の減少で 1,170 人となりました。平成 25 年度も前年度よりさらに減少し 1,094 人となりました。

センターの基本は会員であり、会員の拡大に最大限の努力をまいります。イベント等を通じた宣伝活動、賛助会員企業への広報活動などの取組みを積極的に行います。また、高齢化が進む中、福祉・家事援助サービス事業の拡充を図るため、女性会員の増強に取り組めます。

「一人が一人の仲間を増やそう」を合言葉に、会員、役員、職員が一体となって会員の増強に努めます。

(2) 受注件数目標

受注総件数				10,500	件
内訳	公共	10.0	%	1,050	件
	民間	90.0	%	9,450	件
			(月平均)	875	件

(3) 受注契約目標金額

契約総金額				527,473	千円
内訳	公共	37.4	%	197,275	千円
	民間	62.6	%	330,198	千円
			(月平均)	43,956	千円

(4) 就業延人員目標

就業延人員				99,000	人日
			(月平均)	8,250	人日

(5) 就業率目標

82.5 %

(6) 組織体制の強化

公益社団法人としてシルバー人材センター事業をより一層充実したものとするため、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、会員の自主的な運営が図れる体制を推進し安定的な組織の確立に努めます。このため、次により組織体制の強化を図ります。

- ・社会経済情勢に対応した魅力ある事業の開拓
- ・会員の就業ニーズと受注した仕事紹介のミスマッチの解消
- ・事業量の拡大と質の高いサービスの提供
- ・職種別後継者の育成

(7) 普及啓発活動の推進

地域社会における、シルバー事業の意義や理念、現状、仕組み、活動内容等を広く周知し、センターに対する理解と支援が得られるよう次の普及啓発活動に努め、健康で働く意欲のある高齢者の加入を促進します。

- ・入会説明会（毎月2回）の開催

- ・会報「シルバー尾道」の発行
- ・市広報への掲載依頼と報道機関への情報提供
- ・リーフレット、チラシ等の配付
- ・社会奉仕活動の推進
- ・「シルバーの日」の活動の推進
- ・尾道みなと祭等の地域イベントへの参加
- ・一般市民対象の各種講習会の開催
- ・ホームページの内容の充実

#### (8) 就業機会の提供拡大

公共団体、民間企業、一般家庭及び関係団体等に対し、シルバー人材センターが果たす社会的意義についての理解を得るとともに、就業機会の拡大、未就業会員の解消に向け、会員の希望に応じた多様な就業機会の開拓に努めます。

- ・技能講習等を実施し、技術の向上、サービスの質の向上を図る。
- ・女性会員のサービス分野への就業の推進を図る。
- ・接遇研修、技能研修の充実により、会員の資質向上と就業機会の拡大を図る。
- ・「共働・共助」の意識の浸透を図り、ローテーション就業、グループ就業等による公平な就業機会の提供に努める。

#### (9) 福祉・家事援助サービス

高齢化がますます進行する中、会員の経験・知識・技能を生かし、「福祉の受け手」から「社会の担い手」として地域社会へ積極的に参加できる環境づくりに努めます。

福祉・家事援助サービス事業、子育て支援事業の拡充を図ります。

#### (10) 独自事業

会員の経験、技能を生かした就業機会の拡大を図るため、既存事業の推進を図り、新規事業の調査研究に取り組めます。

- ・シルバー観光ガイド事業
- ・文学記念室土産品販売事業
- ・刃物研ぎ事業
- ・ソーイングサービス事業
- ・書道教室

- ・新規事業の調査研究

#### (11) 地域ニーズ事業

国の補助事業の企画提案方式事業が地域ニーズ事業に変更となり、事業採択の範囲が拡大されましたが、就業延人員の目標達成や事業収入、国庫補助終了後の事業継続等が条件となりました。尾道市高齢者福祉課など行政機関とも協議しながら、事業の検討を行います。

#### (12) 一般労働者派遣事業への取組み

適正就業の推進、就業形態の多様化に対応するとともに、新たな就業機会の確保に向けて、一般労働者派遣事業の推進に努めます。このため、ホームページを活用するなど企業へのPRを実施します。

#### (13) 研修会、講習会の開催

会員の就業機会の拡大と発注者の信頼に応えるために、各種研修会、講習会等を開催し、技術等の向上や問題解決に努めます。

- ・地区総会
- ・役職員、会員研修会
- ・安全運転講習会
- ・植木剪定講習会
- ・刈払い機取扱実技講習会
- ・観光ガイド研修会
- ・筆耕技術研修会
- ・福祉・家事援助サービス等研修会

#### (14) 会員の福利厚生活動

会員相互の親睦と連帯意識の高揚、会員の健康管理を推進します。

- ・会員傷害保険及び損害賠償保険の加入
- ・会員互助会活動をセンターの福利厚生事業として実施

#### (15) 安全・適正就業の推進

シルバー事業は、会員の安全就業が最重要事項であり「安全はすべてに優先する」を

基本に、事故ゼロを目指して、安全就業意識の高揚、安全・適正就業の徹底を推進するため、次の事業に取り組めます。

- ・安全就業推進大会の開催
- ・安全就業標語の募集と安全就業標語選考会の開催
- ・安全委員会の開催
- ・安全講習会の開催
- ・危険箇所等就業現場における確認、注意
- ・就業前のミーティングの徹底
- ・安全装備着用の徹底
- ・安全・適正就業心得 10 項目の徹底
- ・就業現場のパトロールによる指導と安全意識の高揚

#### (16) 高年齢者職業紹介事業

本年 10 月より無料職業紹介事業が有料職業紹介事業として開始となるため、諸準備を行います。

#### (17) 研修活動

シルバー事業に関する理解を深めるとともに、事業活動の充実・発展を図るため、各種研修会に参加します。

- ・全国シルバー人材センター事業協会総会及び研修会等への参加
- ・中国ブロック、県連合会の研修等への参加
- ・その他、研修会等への参加

#### (18) 事務局体制の充実・強化

事務局職員は、自らの使命と役割を認識し、事務能力の向上や能率アップ、課題解決に積極的に取り組めます。

- ・職員会議を開催し、課題認識を統一して問題解決に取り組む。
- ・研修会等に参加し、事務能力の向上を図り、活力ある事務局体制の構築に努める。

#### (19) 事業運営の健全化

補助金の増額要望に取り組むとともに、受注の拡大による財政基盤の強化と運営経費の節減を図り、財政の健全化に努めます。

(20) 関係機関・団体との連携強化

関係行政機関、広島県シルバー人材センター連合会、備後地区シルバー人材センター連絡協議会並びに県内の各センターとの連携を密にし、シルバー事業を円滑に推進し、センターの充実発展に努めます。

平成 26 年度の事業計画目標数値

	平成 26 年度計画	平成 25 年度実績
会員数	1,150 人	1,094 人
男性	791 人	752 人
女性	359 人	342 人
就業率	82.5 %	83.3%
就業実人員	948 人	911 人
受託事業収入		
公共	197,275,000 円	185,794,655 円
企業	170,374,000 円	162,824,893 円
家庭	155,604,000 円	150,004,010 円
独自事業	4,220,000 円	4,594,305 円
計	527,473,000 円	503,217,863 円
企画提案方式事業	3,639,000 円	2,698,042 円
指定管理事業	17,855,000 円	16,842,010 円
合計	548,967,000 円	523,876,630 円
一般労働者派遣事業	1,000,000 円	1,118,715 円
受注件数	10,500 件	10,379 件